

- 問1 古墳時代の前期において、同じ鋳型（いがた）で作られた「三角縁神獣鏡」などの銅鏡が、遠く離れた各地の有力者の古墳から共通して発見されています。このような現象は、当時の日本（倭）におけるどのような政治状況を物語っていますか。（2016年 高知県公立入試 類似）
1. 大和政権が、支配下に入った各地の有力者に対して支配や同盟の証として鏡を配付した状況
 2. 大陸の王朝が日本全土を直接統治しており、各地の役所に同じ規格の鏡を配布した状況
 3. 日本各地の村々が独自に大陸と貿易を行い、流行していた同じデザインの鏡を輸入した状況
 4. 仏教が伝来したことで、全国の有力者が同じ教義を信じ、同じ意匠の鏡を自ら作成した状況
- 問2 4世紀から7世紀にかけて、近畿地方の有力な一族を中心として組織され、日本の大部分を統治した政治組織の仕組みについて述べたものとして最も適切なものはどれですか。（2022年 茨城県公立入試 類似）
1. 大王（おおきみ）と呼ばれる首長を中心として、各地の有力な豪族が連合して構成された。
 2. 漢の皇帝から授けられた金印を持つ王が、中国の王朝に対して朝貢を行うことで統治した。
 3. 貴族が摂政や関白の職を独占し、天皇に代わって政治の実権を握る体制がとられた。
 4. 地方の武士が幕府を開き、土地の支配権を保証することで全国の武士を統制した。
- 問3 4世紀から7世紀頃、朝鮮半島や中国大陸から日本列島へ移り住み、須恵器の製作技術や漢字、仏教などを伝えた人々を何と呼ぶか。（2023年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 渡来人
 2. 遣隋使
 3. 防人
 4. 御家人
- 問4 大阪府の百舌鳥・古市古墳群に含まれる、三重の濠が巡らされた日本最大の前方後円墳の名称と、それが登録されているユネスコの区分の組み合わせとして正しいものを次から選びなさい。（2020年 群馬県公立入試 類似）
1. 大仙古墳（世界文化遺産）
 2. 大仙古墳（世界自然遺産）
 3. 五色塚古墳（世界文化遺産）
 4. 箸墓古墳（世界文化遺産）
- 問5 近畿地方を中心に現れた、一方が四角形で他方が円形をした鍵穴のような形の古墳が、時代とともに全国各地（東北南部から九州）へと広がっていった事実は、当時の政治状況についてどのようなことを示していますか。（2021年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 大和政権（ヤマト政権）の勢力や政治的な影響力が、地方にまで拡大したこと
 2. 仏教の教えが各地に広まり、新しい埋葬の形式が全国で統一されたこと
 3. 大陸から渡来した人々が、日本各地に共通の墓制を直接伝えたこと
 4. 稲作の技術が全国に普及し、各地の農民が協力して巨大な墓を造ったこと
- 問6 5世紀の日本において、倭の五王と呼ばれる王たちが中国の南朝へ繰り返し使節を送った目的として、最も適切な説明はどれですか。（2017年 長野県公立入試 類似）
1. 中国皇帝から王としての国際的な地位を認められ、朝鮮半島南部での立場を有利にするため
 2. 白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に勝利するための軍事同盟を、中国の王朝と結ぶため
 3. 沿岸部で活動し周辺諸国を苦しめていた倭寇を取り締まるよう、中国から要請を受けたため
 4. 平城京を造営するためのモデルとして、中国の都の仕組みを詳しく調査するため
- 問7 5世紀頃、大陸から日本へ移住した人々によって伝えられた技術のうち、それまでの赤褐色の土器とは異なり、穴窯を用いて高温で焼かれた硬い灰色の土器を何と呼びますか。（2021年 島根県公立入試 類似）
1. 縄文土器
 2. 弥生土器
 3. 須恵器
 4. 土師器
- 問8 古墳時代には、巨大な墳墓の周囲や頂上に、土で作られた焼き物が並べられました。これらには円筒形のもののほか、家、馬、あるいは武具を身につけた人物をかたどったものがありますが、これらを総称して何と呼びますか。（2015年 岡山公立入試 類似）
1. 埴輪
 2. 土偶
 3. 銅鐸
 4. 勾玉
- 問9 3世紀後半から6世紀にかけて、近畿地方だけでなく九州から東北南部までの広い範囲で、同じ「前方後円墳」という形式の古墳が作られた理由として、最も適切なものはどれか。（2020年 佐賀県公立入試 類似）
1. ヤマト政権を中心とする政治的な結びつきが、各地の豪族との間に広がったため。
 2. 中国の皇帝から、日本全土を統一するためにこの形状で墓を作るよう命じられたため。
 3. 稲作の普及により食料が豊富になったため、農作業の休憩所として全国で同じ形が採用されたため。
 4. 仏教の教えに基づき、円形と方形を組み合わせることで死者の供養になると信じられたため。
- 問10 5世紀頃、大和政権は近畿地方から遠く離れた地域まで勢力を拡大しました。各地の有力者の墓（古墳）から、当時の王の名称が刻まれた鉄剣や鉄刀が発見されている事実は、当時の政治体制についてどのようなことを示していますか。その説明として最も適切なものを選びなさい。（2017年 愛知県公立入試 類似）
1. 地方の有力者が、大和政権を介さず独自に大陸と外交を行っていたこと
 2. 大和政権の権力が、九州から関東に及ぶ広い地域の有力者に及んでいたこと
 3. 仏教の伝来によって、全国の有力者が同じ信仰を持つようになったこと
 4. 征夷大將軍が派遣され、東北地方まで完全に平定されたこと
- 問11 4世紀から5世紀にかけて、朝鮮半島などから日本列島へ移り住み、漢字や儒教、さらには須恵器の製作技術や鉄器の製造といった高度な文化や技術を伝えた人々を何と呼びますか。（2021年 千葉県公立入試 類似）
1. 渡来人
 2. 防人
 3. 遣唐使
 4. 部民
- 問12 古墳時代の日本列島において、大陸から移住した渡来人が果たした役割と、彼らもたらした文化的影響について述べた文として正しいものを次の中から選びなさい。（2019年 岡山公立入試 類似）
1. 漢字を伝えることで、ヤマト政権における外交や記録、財政などの実務を支えた。
 2. 鉄砲の伝来に寄与し、戦国大名の戦い方や城の構造に劇的な変化をもたらした。
 3. 稲作の技術を初めて伝え、狩猟・採集中心の縄文文化から弥生文化への転換を促した。
 4. 青銅器を用いた祭祀の道具を伝え、卑弥呼が統治する邪馬台国の成立を助けた。
- 問13 古墳が作られていた時代に、中国大陸や朝鮮半島から移り住んで来た人々が果たした役割について、技術や文化の面から説明したものと最も適切なものはどれですか。（2023年 岡山公立入試 類似）
1. 須恵器の製作技術や金属加工、漢字、仏教などの高度な文化・技術を伝えた。
 2. 唐の優れた制度や文化を直接日本へ持ち帰るため、定期的に使節として派遣された。
 3. 鉄砲やキリスト教を日本に伝え、ヨーロッパとの貿易（南蛮貿易）を主導した。
 4. 九州北部の防備にあたるのと同時に、防人として東国から徴集された。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 大和政権が、支配下に入った各地の有力者に対して支配や同盟の証として鏡を配付した状況	同じ型から作られた鏡が広範囲で見つかることは、中央の大和政権が中国から入手、あるいは国内で製造した鏡を、自らの権威を認めた地方の有力者に分け与えたことを示唆しています。これにより、大和政権を中心とした政治的な連合や支配体制が、近畿地方から遠隔地へと広がっていった背景を読み取ることができます。
問2	答え 1 大王（おおきみ）と呼ばれる首長を中心として、各地の有力な豪族が連合して構成された。	4世紀頃に近畿地方を拠点として成立した大和政権は、豪族と呼ばれる有力な一族が連合して形成された組織です。その中心には「大王（おおきみ）」と呼ばれる世襲の王が君臨し、有力な豪族たちは職務を分担して政権を支えました。この体制は、後の律令国家へと発展していく基礎となりました。
問3	答え 1 渡来人	大陸での争乱を避けるために日本に移り住んだ、あるいは大和政権に招かれた人々を指します。彼らは土木、養蚕、機織り、金属加工などの高度な技術のほか、漢字や仏教、儒教といった思想・文化をもたらし、日本が国家としての形を整える上で重要な役割を果たしました。
問4	答え 1 大仙古墳（世界文化遺産）	5世紀の古墳時代中期に築造された大仙古墳は、全長約486メートルを誇る日本最大の古墳です。その圧倒的な規模と独特な形状は、当時のヤマト政権の強力な支配力を示すものと考えられています。2019年には、周辺古墳とともに「百舌鳥・古市古墳群」としてユネスコの世界文化遺産に登録されました。
問5	答え 1 大和政権（ヤマト王権）の勢力や政治的な影響力が、地方にまで拡大したこと	各地の有力者が大和政権と同じ形式の古墳を築くことは、その有力者が大和政権と政治的な結びつき（同盟や服属）を持っていたことを意味します。このため、前方後円墳の分布範囲を調査することで、当時の大和政権の影響力がどこまで及んでいたかを推測することができます。
問6	答え 1 中国皇帝から王としての国際的な地位を認められ、朝鮮半島南部での立場を有利にするため	5世紀の古墳時代、倭の五王は中国の南朝に朝貢しました。当時の倭の王は、大陸の強大な王朝から「倭王」としての称号（冊封）を得ることで、自身の権威を国内外に示すとともに、鉄資源の供給地として重要だった朝鮮半島南部における外交的・軍事的な優位性を確保しようと考えました。
問7	答え 3 須恵器	渡来人は日常生活に密着した技術も多く伝播させました。それまで日本で作られていた土器よりも高い温度で焼成する技術や、ろくろを使用する技法が伝わったことで、より実用的で耐久性の高い器が生産されるようになりました。
問8	答え 1 埴輪	古墳の周囲や墳丘の上に並べられた土製品を埴輪（はにわ）と呼びます。埴輪には、王の権威を示す役割や、葬儀の儀式の様子を再現する役割があったと考えられています。縄文時代に魔除けや安産を祈願して作られた「土偶」とは、作られた時代や目的が異なるため、混同しないよう注意が必要です。
問9	答え 1 ヤマト政権を中心とする政治的な結びつきが、各地の豪族との間に広がったため。	特定の形状（前方後円墳）が広まったことは、地方の豪族がヤマト政権の支配体制や同盟関係に組み込まれたことを示しています。古墳の形や規模を共有することで、政権内での身分や序列を明確にする役割もありました。
問10	答え 2 大和政権の権力が、九州から関東に及ぶ広い地域の有力者に及んでいたこと	大和政権は、軍事力や外交力を背景に地方の首長たちと主従関係を結び、自身の統治体制に組み込んでいきました。有力者の墓から出土した銘文入りの鉄剣などは、地方首長が大和政権に従う代わりに、その土地の支配権を保証されたという政治的な結びつきを証明するものです。これにより、当時の日本列島において広域的な政治連合が形成されていたことがわかります。
問11	答え 1 渡来人	朝鮮半島における戦乱や政治的変動を背景に、日本列島へ移り住んだ人々を指します。彼らもたらした漢字は記録手段として、儒教は政治理念として、また須恵器や鉄器の製作技術は人々の生活や軍事力を向上させる大きな力となりました。ヤマト王権はこれらの人々を組織に組み込むことで、国家の基盤を固めていきました。
問12	答え 1 漢字を伝えることで、ヤマト政権における外交や記録、財政などの実務を支えた。	渡来人は文字（漢字）の知識だけでなく、養蚕、機織り、土木技術、須恵器の製作など、当時の日本にはなかった高度な技術を伝えました。特に漢字を用いた文書作成能力は、ヤマト政権（大和朝廷）が組織を運営し、大陸の諸国と外交交渉を行う上で欠かせないものとなりました。鉄砲は16世紀、稲作や青銅器は弥生時代以前に伝わったものであり、時期や内容が異なります。
問13	答え 1 須恵器の製作技術や金属加工、漢字、仏教などの高度な文化・技術を伝えた。	渡来人は当時の日本にはなかった高度な技術を多数持っていました。硬くて灰色の土器である「須恵器」の製作、養蚕や機織り、金属の加工といった生産技術のほか、漢字や儒教、仏教などの文字や宗教も彼らを通じて伝えられました。これにより、日本の政治や生活様式は大きく変化しました。